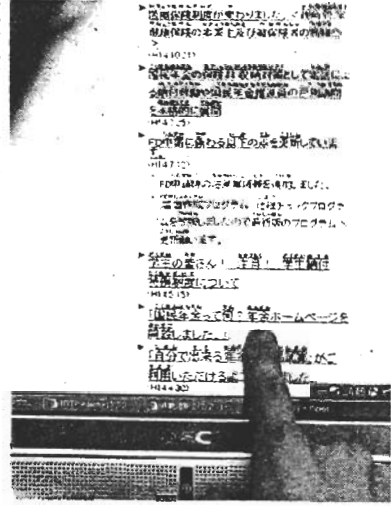


学習障害で漢字の読め合わせで情報を提供で一人だが、現在の障害者の第一歩だ。今後は平仮名の人や外国人向けに、きるよようにしたい」と夢を語る。

電子メールやサイト上の漢字に自動的にルビを振るサービスを、IT登録をすれば、後は「アプリケーション」の運用するサーバーと、文章を最初から最後まで聞いていなければならぬ。じれったいが、現状では障害者が、支援板などの文字もカメラ付

# 無料でルビ振り サイト上の漢字



き携帯電話で撮影してメールで送れば、ルビを振って読み方を教えるようホームページ画面上の漢字にルビを振って表示される

## 障害者支援団体始める 誰でも使えるもの目標

使われているすべての漢字にルビが振って表示されるが、同じ機能の市販パソコン用ソフトと違って無料で、携帯電話からも利用できるなどの特長がある。

「アダプティブテクノロジー」で事務局を担当する、バリアフリー型ホームページ制作会社「アイ・クリエイツ」(東京都町田市)の羽川和男代表は「こうした支援技術

システムを開発した鳥原素彦性症という病気の視覚障害者。画面のデータを示の仕方を交換させるこの技術を発展して「その人の障害の種類や程度、属性や好み、TP(時、場所、状況)に



「くらし」のホームページは、http://www.adaptive-techs.com

訪問販売 再来訪し

問い 訪問販売 工事をした

答え この相談 例は、耐震

強工事を契約してか八日以内であったで、クーリング・オを行ない契約解除ができました。一人の消費に対して、何度も契約を結ばせるのを「次販売」といい、最近高齢者のトラブルが加しています。

### 消費

最近では住宅管理備に関する契約に次販売の被害が多く見

が実現すれば誰にとっても便利になると思つて意義を語る。鳥原さんも「日本人や障害者だけでなく、全世界の人が使えるようにしていきたい」と意気込んでいる。